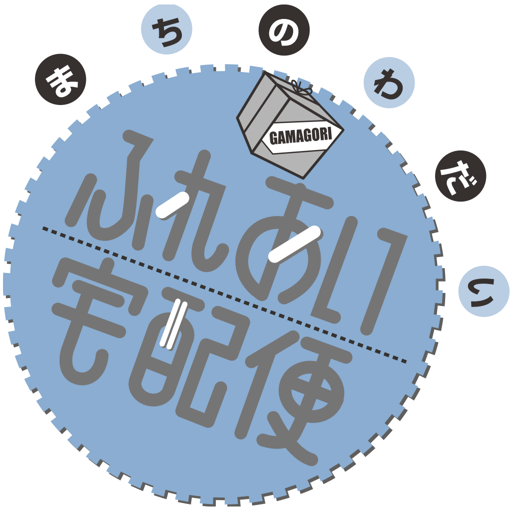

7月24日

ヨットレースの醍醐味を体験

ヨットマンと障害者の人たちの交流から始まった今年で９回目を迎える「ひと、人、ヒトヨットレース IN 蒲郡」。

世界でも唯一といえる蒲郡バリアフリー桟橋「マンボウ」から障害者の人たちを乗せたヨットが次々に出発し、乗船した人たちは、三河湾の風をうけながら三河大島近海の 10 ㎞コースにチャレンジしました。

あいにくこの日は風が弱く、スピード感はいまひとつでしたが、北京パラリンピックの強化選手が参加し、レースを盛り上げました。

7月24日

友好都市浦添市との"きずな"またひとつ

三河大島いかだレースで毎回好成績を収めている蒲郡チャレンジチームが、市民交流のため、いかだとともに浦添市の「第５回てだこハーリー大会」に参加しました。レースでは、浦添市体育協会のサバニ（漁労用の木製手漕ぎ船）と白熱したマッチレースを展開。いかだは、持ち前のスピードを生かして、南の海原を快走。観戦している人たちの間からは、その速さに大きな歓声があがりました。浦添市との友好のきずながまたひとつ強くなった瞬間でした。

8月7日

水源地で夏休みの思い出づくり

水源地体験・水源上下流域交流会が、設楽町の「かがやきの森」で行われました。

交流会では、市内在住の親子38人と水源地田峯地区の子どもたちが参加し、ニジマスのつかみ取りやささ舟レースで歓声を上げ、間伐材を使ったゲームや工作では、会場が静まるほど真剣に取り組みました。

子どもたちは、交流を通して水源地の自然を満喫。きっと楽しい夏休みの思い出になったことでしょう。